

# 令和 2 年度(2020) 自己点検・自己評価報告書

令和 3 年 6 月 1 日  
(2021 年 6 月 1 日)

学校法人 古屋学園

専門学校 二葉製菓学校

令和 3 年 6 月 1 日作成  
(2021 年 6 月 1 日)

# 目 次

<b>基準 1 教育理念・目的・育成人材像等</b> .....	1	<b>基準 4 教育成果</b> .....	24
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか.....	2	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか.....	25
1-2 学校の特色はなにか.....	3	4-19 資格取得率の向上が図られているか.....	26
1-3 学校の将来構想を抱いているか.....	4	4-20 退学率の低減が図られているか.....	27
<b>基準 2 学校運営</b> .....	5	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか.....	28
2-4 運営方針は定められているか.....	6	<b>基準 5 学生支援</b> .....	29
2-5 事業計画は定められているか.....	7	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	30
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか.....	8	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	31
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか.....	9	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか.....	32
2-8 意思決定システムは確立されているか.....	11	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか.....	33
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか.....	12	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか.....	34
<b>基準 3 教育活動</b> .....		5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか.....	35
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか.....	14	5-28 保護者と適切に連携しているか.....	36
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか.....	15	5-29 卒業生への支援体制はあるか.....	37
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか.....	16	<b>基準 6 教育環境</b> .....	38
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか.....	17	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか.....	39
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか.....	18	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか.....	40
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか.....	19	6-32 防災に対する体制は整備されているか.....	41
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか.....	22		
3-17 資格取得の指導体制はあるか.....	23		

**基準 7 学生の募集と受け入れ..... 43**

- 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか..... 44
- 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか..... 45
- 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか..... 46
- 7-36 学納金は妥当なものとなっているか..... 47

**基準 8 財務..... 48**

- 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか..... 49
- 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか..... 50
- 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか..... 51

- 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか..... 52

**基準 9 法令等の遵守..... 53**

- 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか..... 54
- 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか..... 55
- 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか..... 56
- 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか..... 57

**基準 10 社会貢献..... 58**

- 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか..... 59
- 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか..... 61

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校は「涵養の精神と職業人としての自立」という建学の精神のもとに、製菓・製パン全般について高度な専門的技術・知識を練磨し、菓子業界の向上に真に役立つ技術者を育成して社会に貢献すると共に、学生の一般教養を高め、その品性を陶冶することを目的とし、その実現に向けた実践教育に取り組んでいる。</p> <p>又、社会の変革に対応できる人材の育成が必要であり、今後も推進してゆく。</p> <p>&lt;学校指針&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. グローバル化時代に即応し、創造性・自己啓発力・チャレンジ精神を持った学生の育成に取組み、輩出をしていく学校。</li> <li>2. 学生が希望する進路ニーズに応え、全教職員で支援し確実に実現させる学校。</li> <li>3. 専門的なスキルを身に付け、積極的に社会に参加・貢献出来る人材を育成する学校。</li> <li>4. 学校行事や学外イベント、地域貢献等、教職員と学生が一体となり、活動を繰り広げる帰属意識に満ちた熱意溢れる学校。</li> <li>5. 業界団体及び企業関係と密接に連携を図り、職業実践教育を学生に教授し、職業人・社会人としての責任や社会貢献の意識を持たせ、困難な状況に挫けない精神と健康な身体を持つ人間を育成する学校</li> <li>6. 職業人としてのホスピタリティー教育を進め、人材育成を行う学校。</li> </ol>	<p>本校の教育理念・目的・育成人材像は明確且つ具体的に示されており、学生や教職員等学校関係者だけではなく学外にも公表されている。</p> <p>学外実習において、職業意識・衛生知識・技能・コミュニケーション力など、働き方教育を行い、人材育成を行っている。</p> <p>教職員の業界貢献・地域貢献を目標にした講習会や商品共同開発等に積極的に参画している。</p> <p>教職員が社会の変化に敏感に対応できるように専門分野のスキルアップを進めている。</p> <p>職業実践教育の中核的機関として、多様な学習者のニーズや社会の様々な要請に的確に応える学習機会を提供する為、「企業向け・学生向け・一般向け・児童向け」の各種講習会やオープンキャンパスなどを開講している。</p> <p>&lt;建学の理念&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・涵養の精神と職業人としての自立</li> </ul> <p>&lt;学校目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 職業人としてのホスピタリティー教育の推進</li> <li>2 高度な専門知識及び技術・技能の習得</li> <li>3 業界・企業との連携による実践教育による働き方教育の推進</li> <li>4 人間性豊かな明晰なる感性と国際性の涵養</li> <li>5 時代の変化に対応し変革を起すことができるグローバル人材の育成</li> </ol>

最終更新日付

2021年 5月 13日

記載責任者

大野 龍男

## 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確且つ具体的に定めている。	理念・目的・育成人材像について学則及び学校業務運営体制等で示している。	特になし。	・学則 ・校務分掌 ・入学案内
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	カリキュラムの工夫と専門教育等具体的な計画と職場での実地研修を定期的に取り入れている。	基本理念・目的・育成人材像を基に、中期目標及び単年度研修目標を設定している。	特になし	・校務分掌 ・学校案内 ・実習メニュー検討委員会 ・連携企業研修計画表 ・学生企業研修ノート
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	時代の変化に対応する為、外部からの情報収集を行い常に見直し、迅速に取り入れている。	時代のニーズに合わせ、職員の企業研修と企業向けの技術講習会・研修会に積極的に参加し、その内容を授業に反映している	特になし	・ホームページ ・実習メニュー検討委員会 ・職員研修報告書
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	学内はもとより学外（業界関係）にも広く周知を行っている。	校内に建学の精神を掲げるとともに、ホームページ等で広く周知を図っている。	特になし	・学校案内 ・学校関係者評価（HP） ・SNS

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像は具体的且つ明確に示されている。時代の変化に合わせて常に見直しを図っている。又、外部からの意見や情報について積極的に取入れを行っている。学生の職業意識を上げる工夫を企業側と学校側の両方で連携しながら方策を考えながら進めている。	建学の理念である「涵養の精神と職業人としての自立」は教育理念・教育目標でもあり、職業に対する人材育成像である。

最終更新日付	2021年 5月 13日	記載責任者	大野 龍男
--------	--------------	-------	-------

## 1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	実践的で専門性の高い実学教育とホスピタリティー教育を取入れた授業を特色としている。	2年コースではより専門性を重視し、少人数クラス編成で実習を行い、職業意識を持たせている。 職業実践専門課程認定校	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内</li> <li>・実習メニュー検討委員会</li> <li>・三鷹店舗付実習室</li> <li>・企業研修ノート</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の特色は実務教育による実践力であり以下の4点を整備している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習内容により少人数クラス編成の充実した教育設備環境</li> <li>2. 国際水準の講師陣による教育プログラムによる高度な実践的授業の実施</li> <li>3. 連携企業との職場実地研修の実施（職業実践専門課程）</li> <li>4. 実践力・創造力・自己啓発力等を合わせた自立力のある人材育成</li> </ol>	<p>二葉栄養専門学校との2年制グランシェフコース（学園内進学制度）は調理・製菓製パンを学べるコースがある。継続的に欧州製菓技術研修旅行を実施するとともにオーストリア（ウィーン市）の製菓専門店へ海外実習企業研修として36名の留学実績がある。</p>

最終更新日付	2021年5月13日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	学校の中期計画（3か年）で明確化され、目標達成を目指している。人事考課制度により人材育成を行っている。	中期計画と方策、進捗状況を単年ごとに理事会にて評価を行っている。 成長育成シートにより中期計画達成に向け教職員の目標設定を行っている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務分掌</li> <li>・人事考課制度</li> <li>・成長育成シート</li> <li>・理事会議事録</li> <li>・FUTABA 中期計画</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期計画をもとに、時代の変化に合わせ調整・改善をしながら目標を達成するべく推進している。教職員の人材育成は人事考課制度により職種・職階により成長育成シートが策定され実施している。	中期的構想について重要な要素である学生募集（入学者数・在籍者数）の推移予測を、より高い精度で行わなければならない。

最終更新日付	2021年5月13日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>① 本校（学園）の建学の理念である「涵養の精神と職業人としての自立」及び学則を具体的に示し教職員に理解・徹底させ、学生の教育活動・生活指導等の学事を進めている。</p> <p>② 運営体制案に示した目指す学校及び中期目標と方策の内容に則し、運営組織上の主管部署である教務課が中心となって業務を遂行している。</p> <p>③ 少子化の進む状況下、教育環境の充実を図っており、また併行して教員の資質向上の為、研修会、講習会参加等率先して実施している。</p> <p>④ 学校内美化・衛生教育・ECO 運動を教職員・学生が共通の認識として取り組んでいる。また検証作業を教職員が実施し、施設管理・環境衛生等の改善において設備管理業務改善職場委員会を設置し取り組んでおり、本館階実習室講師用コールドテーブル 2 台・モニター取替工事や汚水槽排水ポンプ交換工事を行い、実習作業面、衛生面での改善を行った。</p> <p>⑤ 人事考課制度・昇進昇格制度により、適切な評価を行い、昇進・昇給の制度化により評価・処遇・育成の流れが整備されてきている。</p> <p>⑥ 採用制度とそれに伴うフローは確立・整備されている。</p> <p>⑦ 2019 年度 高等教育無償化確認校となる。</p>	<p>学事計画運営の特徴である、</p> <p>① 学校運営における人材の確保・育成を行っている。</p> <p>② 校務分掌による運営。</p> <p>③ 設備管理業務改善職場委員会での学校環境の整備管理が進んでいる。</p> <p>④ 職制の中で広報室・就職支援室の意見等を積極的に取入れ活用している。</p> <p>⑤ 就業規則を根拠として採用フローに関連する帳簿類は整備されている。</p> <p>⑥ 学生支援として高等教育無償化確認校となる。</p> <p>コロナ禍により、講義や実習・企業研修の変更を余儀なくされた。緊急事態宣言の発令に伴い 4 月 6 日の入学式延期し 5 月 11 日・12 日に分けて入学式及びオリエンテーションを実施、5 月 18 日より分散登校とし、各クラス半日講義を開始。6 月 1 日からは各クラス週 2～3 日を目安に半日での実習を開始。7 月 1 日からは、ほぼ通常の対面形式の講義・実習に戻した。</p> <p>学生の夏季企業研修については中止とし、冬期企業研修は協力頂けた専門店にて期間を短縮し実施を行った。</p>

最終更新日付

2021 年 5 月 13 日

記載責任者

大野 龍男

## 2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	理事会決定事項を基に毎年度学校業務運営体制に基づき、年間行事及び年間予算を明確に定めている。	設備管理業務改善職場委員会を設置し定期に開催している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校務分掌</li> <li>設備管理業務改善職場委員会</li> <li>行事实施検討委員会</li> </ul>
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	教職員会議を通し、明示している。 人事考課制度により明確に伝わっている。	教職員会議の実施。 成長育成シートによる目標設定・面接を実施している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員会議議事録</li> <li>成長育成シート</li> </ul>
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	5	各諸規定が整備されており、重要事項はグループウェア内の文書共通管理ボックスに格納している。	各種諸規定については、校長会→評議委員会→理事会を経て決定される。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校長会議議事録</li> <li>各会議議事録</li> <li>各種諸規定</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営方針は中期計画を基に、年度毎に明確に定められている。さらに教職員への一層の周知が組織的に行われるようになってきおり、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等にてその検証を行い次年度に繋げている。	校長会議事録により運営方針等が各校教職員に周知している。 学校運営については学内だけではなく、学外の委員から構成された「学校関係者評価委員会」、「教育課程編成委員会」での意見を積極的に反映させている。

最終更新日付	2021年5月13日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	各校ごとに年間事業計画内での行事予定・施設設備計画が策定され、理事会で承認を受けることにより成立する。	年間行事予定の作成。 (前期・後期行事予算計画) 年間施設設備予算計画作成	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事予定表</li> <li>年間施設設備予算計画</li> </ul>
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	各会議に於いて調整され実施されているがコロナ禍の影響により、各種計画の変更を余儀なくされた。	年間行事予定・年間施設設備予算計画に基づき実施。 ・コロナ禍による行政からのガイドライン	コロナ禍における行政からの指針について明確でない部分があり事業運営対応に苦慮した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事予定表</li> <li>年間施設設備予算計画</li> <li>コロナ禍に対応した持続的な学校運営のためのガイドライン(文科省)</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校事業計画は毎年度ごとに明確に定められたおり、計画的に改善が行われたが、2020年度はコロナ禍により、その都度状況を把握しながらの対応となった。	コロナ禍の影響により、業界団体・企業等との連携等の予定が立たない状況となり、各種計画の変更を余儀なくされた。6月から対面授業を行い、学生の学びを出来る限り止めることがないよう最善を尽くした。

最終更新日付

2021年5月13日

記載責任者

大野 龍男

## 2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	5	法人、学校組織図が整備されている。	校務分掌に明記されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園組織図</li> <li>・校務分掌</li> </ul>
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	5	組織図等に基づいた会議の開催により、組織運営及び意思決定を行っている。	学園理事会、評議員会、校長会及び諸会議の開催。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園校長会議事録</li> <li>・職員会議議事録</li> <li>・評議員会議事録</li> <li>・経営推進会議議事録</li> </ul>
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	5	校務分掌・設備管理業務改善職場委員会・行事検討委員会により明確になっている。	校務運営職務分掌 設備管理業務要望書 行事实施要望書	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務分掌編成表</li> <li>・設備管理業務要望書</li> <li>・学園組織図</li> <li>・行事検討委員会</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営組織は、法人理事会・評議委員会・校長会及び諸会等にて明確に定められており、効率的且つ合理的なものになっている。	二葉栄養専門学校校長・二葉ファッションアカデミー校長・二葉製菓学校校長の学園三校校長会議を開催し情報交換を行っている。 また、グループウェアを導入することで業務の効率化に繋がることで情報共有の意識をより一層喚起していきたい。

最終更新日付	2021年5月13日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	採用責任を明確にし、人事考課項目と連動した面接評定書を備える採用稟議書制度に則り、公募による人事確保を行っている。	採用段階で入職後の人事考課項目と連動させることで人材目標を明確にしている。	人材目標の具現化。採用・教育・配属・評価・処遇の一連の流れを全教職員の共通理解としていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事考課制度</li> <li>・採用稟議書</li> <li>・人事異動申請書</li> <li>・退職面談票</li> </ul>
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	4	骨格となる制度は整備できている。運用面の改定を随時行っている。	職種・職階毎の人事考課シートの策定	目標設定の理解にバラつきがあり、校長から考課者へ OJT で浸透を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の理念</li> <li>・中期経営計画書</li> <li>・学校事業計画</li> <li>・人事評価ガイドブック</li> </ul>
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	4	昇進・昇格制度は整備されている。更に各校・各職種毎のキャリアパスが明文化されている。	各校長と協議して策定したキャリアパスを評議会・理事会で決議し、全教職員に展開している。	人事考課シートの浸透による公正性・納得性のおよび内発的動機付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事考課制度</li> <li>・賃金制度</li> <li>・昇進昇格制度</li> <li>・人事異動申請書</li> </ul>
2-7-12 賃金制度は整備されているか	5	賃金制度は整備されている。	人事考課制度の改定に伴い、賃金制度との整合性を取りながら、給与体系の整備を行っている。また働き方改革関連法である、同一労働同一賃金の法改正に対応した給与規定改定を行った。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事考課制度</li> <li>・賃金制度</li> <li>・昇進昇格制度</li> <li>・就業規則</li> <li>・給与規定</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備されているか	5	採用制度とそれに伴うフローは確立・整備されている。	就業規則を根拠として、採用フローに関連する帳票類も整備されている。 その他、正職員登用制度も整備されている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則</li> <li>・採用稟議書</li> <li>・給与規定</li> <li>・面接評定票</li> <li>・成長育成シート</li> </ul>
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	増減発生があった場合、その都度、組織図をメンテナンスし、グループウェアで共有している。また部門別人工推移を月次で把握している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人組織図</li> <li>・人工推移表</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
制度整備は進んでおり、浸透を進めながら、次なる課題設定を行っていきたい。	働き方改革関連法として求められる、①長時間労働の是正＝生産性向上、②多様な働き方の実現＝テレワーク実施、③同一労働同一賃金＝労務・勤怠管理について、給与規定改定・グループウェア導入を行い、また学校法人は適しているとは言い難いもののテレワークについても授業の準備などで実績ができた。

最終更新日付	2021年 5月 27日	記載責任者	寺島 秀親
--------	--------------	-------	-------

## 2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	理事会を頂点とし学園校長会、各会議各委員会に於いて検討決定実施している	学園理事会、学園校長会、三校運営会議 教職員会議、校務運営会議、各委員会会議の実施。	特になし。	・各会議議事録
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	理事会を頂点とし、学園校長会、各会議各委員会において検討決定実施の仕組みが制度化されている。	学園理事会、学園校長会、三校運営会議・教職員会議、校務運営会議、各委員会会議の実施。	特になし	・各会議議事録 ・教職員研修会 ・人事考課制度
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	校務職務分掌により明確になっている。人事考課項目と連動した採用稟議書制度により公募にて人材確保を行っている	成長育成シートにより面接・評価・育成の流れが整備され学校運営に必要な人材育成が進んだ。	人材育成目標の具現化に向けて取り組んで行かなければならない。	・校務職務分掌 ・採用稟議書 ・成長育成シート ・昇進昇格制度

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
意思決定のシステムは確立されているが、部署での責任の所在を明確にすることにより業務の効率化・スピードアップを図っているが、十分に機能していない面もある。	成長育成シートによる目標設定・職能考課にて面接を行い、より内容を明文化し、更に意思決定を行っている。人材育成は重要な課題と認識しており、管理職のより一層の意識改革が必要。

最終更新日付	2021年5月13日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4	IT機器等をそれぞれが駆使し効率化を図っているが、今後在校生・卒業生へのネットワーク発信を更に進める。	学内での情報伝達はグループウェアを基本に行っている。卒業生にはホームページ・SNS や書面郵送	ネットワークを構築し情報を一元化する必要があるが、情報流出の危険性を考えなければならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ</li> <li>・SNS</li> <li>・グループウェア</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ハード面だけではなく、今後ソフト面での情報教育を学生に対して学生一人ひとりにメールアドレスを付与するなどして行っている。学園内・教職員間での情報共有はIT機器で行われるようにグループウェアを2020年4月導入され活用している。	特になし。

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	飯田 章子
--------	------------	-------	-------

## 基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>厳しい経済状況の中、専修学校が生き残っていく為には即戦力となる高度な職業実践的教育の提供が必要である。それには提供側の教員にその意識とスキルを持ち合わせる事が肝要である。本年度は、学校行事等の多くを教職員が自ら考え企画・実践をすること進め、常に新しいことにチャレンジ・トライ&amp;エラーの精神が定着している。また、教職員の姿勢が学生に伝播し、実学教育の実践の場である製菓・製パン・ショコラティエ実習では、1年制専門課程・2年制専門課程の学生がそれぞれ実習課題を持って取り組むことが出来た。専門性、資格等必要条件を備えた教員の育成・確保に努めている。校長・教務課長による教員の専門性や講義力・実習力の把握・評価を適宜行っており、さらに向上させるための研修会・講習会等の参加を積極的に行っている。</p> <p>教職員のスキルアップ研修については、毎年度、夏期・冬期に企業での実技研修を行っており、確実にスキルアップに繋がり授業にも反映されている。</p> <p>継続することで学校の品質向上に努め、さらに学生募集にも好影響を与えるように取り組んでいる。</p> <p>成績評価・単位認定の基準は明確に規定されており、進級・卒業審査はこの基準に則して行われている。また、製菓衛生師の資格取得のため国家試験対策を実施している。</p> <p>学生の実地研修において職業実践連携企業での実地研修が制度化され前期・後期に実施されている。（文部科学省に申請、2016年3月31日付をもって「職業実践専門課程」として認定された。）</p>	<p>&lt;各種資格&gt; 製菓衛生師認定校（受験資格） 衛生分野専門士取得</p> <p>職業実践専門課程 パティスリーモダン科 パティスリーメティエ科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■教員研修会の実施（夏期・冬期）</li> <li>■学生企業実地研修の実施（夏期・冬期）</li> <li>■自己啓発活動の推進・ホスピタリティー教育の推進</li> <li>■オープンキャンパス・講習会・公開講座等の開催</li> <li>■学校関係者評価委員会の開催</li> <li>■教育課程編成委員会での業界との連携による改善</li> <li>■地域コミュニティー・業界との連携強化及びイベント等の参画</li> <li>■学校年間行事・イベント内容の見直し・改善の実施</li> </ul>

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

### 3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	各学科に対応する企業ニーズに向けて方向付けを行い、企業研修を実施している。	入学案内等に明記。各学科は年間企業研修計画により実施	コロナ禍の影響を強く受け企業側の採用予定が大きく変化するため、情報収集を積極的に行っていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内</li> <li>・授業編成表（時間割）</li> <li>・年間企業研修計画書</li> <li>・職業教育連携協力計画書</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
積極的に業界ニーズの把握に努め、企業形態別に学生へのフィードバックを心掛けている。就職支援室より業界研究会・就職セミナーの実施を行っている。企業研修実施により学生の職業意識向上に努めている。	企業・業界説明会・企業セミナー等を通して働く事の意識向上に努めているが、コロナ禍の影響を受け、企業での求人数が読めない状況であった。就職支援室と教務課の連携強化が今後も肝要である。

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

**3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	5	シラバス・実習内容・個人作品展等で明確に定められている。	到達可能レベルを入学案内及び実習内容や授業編成表にて示している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・授業編成表（時間割）</li> <li>・シラバス （講義・実習）</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
積極的に業界ニーズの把握に努めると共に、教育課程編成委員会の意見を反映させ、検証しながら現代感覚を盛り込んだ実践的な教育活動に取り組んでいる。	業界の人材ニーズレベルが年々向上し、学生が習得する実務教育として専門性の高い知識・技術・食品衛生管理などに関する知識が増えている。更にチャレンジ精神・コミュニケーション能力・勤務意欲・社会マナー・自己啓発等の順応性が就職先で重要になっている。

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	5	シラバス・実習内容で十分な内容のもと、体系的に編成されている。	授業科目、時間数、教育内容、到達レベルが明確に定められている。	特になし。	・学則 ・シラバス (講義・実習)
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	5	年度ごとのカリキュラム見直しの際、業界関係者の意見を取り入れている。	教育課程編成委員会を開催して業界関係者等の意見を反映させている。技術講習会やセミナーに参加している。	特になし。	・教育課程編成委員会 議事録 ・シラバス (講義・実習) ・職員研修報告書
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	明確な編成体制となっている。	校長・教務課長・各学科担当者をメンバーとした、カリキュラム検討委員会を毎年度2月に実施している。	カリキュラム検討委員会により、各学科担当者との意見交換を行い、特に実習に反映させている。	・授業編成表 (時間割) ・シラバス (講義・実習)
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	5	毎年度見直しを実施し、企業との連携により業界情報等を共有し、カリキュラムに反映させている。	同上	特になし	・授業編成表 (時間割) ・シラバス (講義・実習) ・学校関係者評価委員会 議事録

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
カリキュラムは目標達成に向けた十分な内容を持ち、且つ体系的に編成されている。しかしながら今後より一層業界等外部委員の意見を取り入れた職業実践に沿った内容にして行かなければならない。	教職員が業界団体及び教育団体との交流を積極的な参画を心掛けている。 学校関係者評価委員会での意見・要望 教育課程編成委員会での意見・要望

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

### 3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	5	各学科の到達目標を基に、適正な位置づけがされている。	授業科目、教育内容、年間時間数が明確に定められている。	特になし。	・学則 ・入学案内 ・シラバス (講義・実習)
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	学科目ごとにシラバスを作成している。	授業概要及び到達目標、授業計画が記載されたシラバスを作成している。	特になし。	・シラバス (講義・実習)
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	5	シラバスは作成されている	実習・学科講義シラバスの細分化を行なった。	特になし。	・シラバス (講義・実習)

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
カリキュラムは目標達成に向けた十分な内容を持ち、且つ体系的に編成されている。実習・学科講義シラバスについては細分化した内容にすることで、より学びの明確化を心掛けている。	特になし。

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	5	制度的に実施している。教務課長・各担任などが適宜面接を行い、聴取している。	学生満足度アンケートを実施。 学級日誌による日常の意識調査	特になし。	・学生満足度アンケート ・学級日誌（クラス別）
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	5	教務課・学生課とで体系的に行っている。教務課長・各担当をメンバーとし適宜検討し学校長が評価している。	校長による授業見学及び学生満足度アンケート・学級日誌を基に適否を検討。必要に応じて担当講師に授業内容の改善や変更を依頼している。	特になし。	・学生満足度アンケート ・学級日誌（クラス別）

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生満足度アンケート・学級日誌等を実施し、学生の声を聞いている。 アンケート結果内容の精査を授業内容・設備環境などに反映させている。 （7月・2月）年2回実施	評価の中で設備面など即座に改善が難しいものも存在するが、学生からの意見等を教員間で把握しながら随時改善に努めている。

最終更新日付	2021年5月20日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか	4	専門性、資格等必要条件を備えた教員を確保している。	教員履歴書により確認。 校長による定期的な面接及び授業見学により、その資質技術を確認している。	面接評定票にて資質を確認している。人事考課面接で要件などを考課している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員履歴一覧</li> <li>・面接評定票</li> <li>・成長育成シート</li> </ul>
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	5	業界レベルに充分に対応している。	教員・講師の採用に関しては、専門性のレベルや鮮度の観点から職歴・更新期間を配慮している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用稟議書</li> <li>・面接評定書</li> <li>・講習・研修会報告書</li> </ul>
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	5	人事考課制度により、校長による教員の専門性の把握と評価を適宜行っている。	授業成果等に問題がみられる教員について面談と事情聴取より、評価・指導を行っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長育成シート</li> <li>・人事考課フィードバック</li> </ul>
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	5	夏季研修はコロナ禍のため中止としたが冬期期間は専任教員を研修に参加した。	専任教員には各研修参加についてその都度報告書の提出を義務づけている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員研修報告書</li> <li>・教員実務研修計画書</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力 (インストラクション スキル)を適宜把握し、 評価しているか	5	校長・教務課長による教員 の教授力の把握を必要に応 じて行っている。	成長育成シートに基づき面 談・評価の実施を行っている	特になし	・成長育成シート ・フィードバックシート
3-15-17 教員の教授力 (インストラクション スキル)を向上させる 研修を行っているか	5	研修期間を設け、教授力の 向上を図っている。	非常勤講師を除く全教員の、 各種研修会・講習会への 参加について学校として協 力体制は出来ている。	特になし。	・教員研修報告書 ・教員実務研修計画書
3-15-18 教員間(非常勤 講師も含めて)で適切 に協業しているか	4	必要に応じ、教員間での協 力・協業が行われている。	定期的な会議において、情報 交換の他教育面等での協 力・協業について協議してい る。	特定の教員だけに負担がか かる場合があり、教員間の平 準化を徹底させいく。	・教務課会議議事録
3-15-19 非常勤講師間 で適切に協業してい るか	4	非常勤講師との協業はして いるが、体制は十分とはいえ ない部分もある。	学校行事等では十分な協業 が見られるが、日常では非常 勤講師の時間的制約がある。	相互にスケジュールを調整 しコミュニケーションを取り ながら連携体制の構築を 図る必要がある。	・講師委嘱書 ・授業日程表(時間割表)

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の 採用基準は明確か	5	採用責任者を明確にし、人事考課項目と連動した面接 評定書により明確になっている。	学歴、職歴、学術的業績、 人格等を総合的に判断して いる。	特になし。	・採用稟議書 ・面接評定書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門性・資格等必要条件を備えた教員を確保しているが充分ではない。 教員採用基準は明確になっている。又、非常勤講師との連携が時間的制約 もあり充分ではない部分については適切な時期に協業体制が取れるよう事 前準備を行う。	専門性の高い科目については、常に学生が理解しやすい、解り易い授業内容 になるように依頼を行なっている。

最終更新日付	2021年5月22日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	明確になっており、教員・学生に周知されている。	学業評価及び課程修了要件が学則に定められている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学則</li> <li>・前期後期定期試験</li> <li>・進級卒業判定会議</li> <li>・修了認定等に関する規定</li> </ul>
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	3	単位互換制度が確立されていない。	特になし。	姉妹校の二葉栄養専門学校・二葉ファッションアカデミーとの教科ごとに単位互換を検討中。	特になし。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価については明確に規定されているが、専門課程・一般課程については他の高等教育機関との単位互換に関して明確な基準がない。評価基準詳細及び卒業基準詳細に明記している。	年間：前期試験・後期試験の定期試験を設けている。 前期・後期企業研修での成績を定期試験結果に反映している。

最終更新日付	2021年5月22日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	各資格は明確に定められ、周知されている。	取得可能な資格は学科やカリキュラムごとに明記されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学案内</li> <li>・ホームページ</li> </ul>
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	5	資格取得を十分にサポートできる内容となっている。	コロナ禍により、資格試験対策講座を2ヶ月遅らせて実施をした。 製菓衛生師試験対策講座 (9月・10月実施)	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学案内</li> <li>・製菓衛生師試験対策講座実施予定表</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学内で取り組んでいる資格について、授業内外に試験対策講座を開設し万全の体制をとっている。	コロナ禍のため東京都製菓衛生師試験実施日が11月まで延期となった。

最終更新日付	2021年5月22日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校についての教育成果の数値指標は次の4点であると考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 進路決定率及び就職率（専門課程）</li> <li>2. 製菓衛生師試験合格率</li> <li>3. 中途退学率</li> <li>4. 学内製菓コンテスト学生部門参加率（コロナ禍のため中止）</li> </ol> <p>本年度の専門課程の就職率は90.0%であった。又、製菓衛生師試験合格率は、東京都試験で80.0%の合格率であった。</p> <p>コロナ禍のため製菓コンテストは中止となりましたが、学内コンテストを実施し、二葉祭（学園祭）にて展示を行った。</p> <p>中途退学率については専門課程を合わせて6.7%となり 昨年に比べ多い数値となった。原因としてメンタル面の弱さから退学する学生が増えた。更に業種による進路変更で退学する傾向もあり、今後対策を講じていく必要がある。更にコロナ禍のため一時帰国し、再入国ができず進学をあきらめて退学をしなければならぬ留学生もいた。</p>	<p>■専門課程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でジャパンケーキショーが中止となり、学内コンテストとして実施を行った。パティスリーモードヌ科2年・パティスリーメティエ科2年がバタークリーム仕上デコレーション作品を全員が製作品した。</li> <li>・本年度は三鷹実習室（店舗付実習室）にて製造販売の実地訓練として新型コロナウイルス感染対策を取りながらパティスリーモードヌ科2年・パティスリーメティエ科2年の2クラスで11月・12月に規模を縮小してイベント販売を行った。</li> </ul>

最終更新日付

2021年5月23日

記載責任者

大野 龍男

#### 4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	就職活動時に個々の面接を実施し、就職希望企業に沿って就職支援室と連携とりながら指導を実施している。	各学科別に就職・業界説明会の開催。 学生就職希望者へのカウンセリングの実施	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間行事予定表</li> <li>・年度別就職状況一覧</li> <li>・就職支援セミナーの実施</li> <li>・就職カウンセリングの実施</li> </ul>
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	就職支援室と製菓校が一体となり、クラス別就職先一覧を作成し明確に把握している。企業からの求人票の閲覧の開放を行っている。	就職支援室主催の業界説明会・就職セミナー・説明会等の業界関係者との情報共有を行っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度別就職状況</li> <li>・クラス別就職先一覧</li> <li>・就職支援セミナーの実施</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職率の向上に関しては、就職支援室を中心に就職セミナー・企業訪問・求人依頼等、情報共有を行いながら企業開拓を進めている。 コロナ禍により就職先情報等の現状把握が難しく、学生への企業選び・仕事内容等のサポートに関して大きく影響が出た。	学生課・担任・就職支援室・広報担当者等と連携を取り、素早い対応と情報収集にあたり学生に公開している。 担任による面談を実施し就職活動のサポートを行っている。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	5	授業以外に試験対策講座を実施する等して、取得率向上を図っている。	試験対策日程に沿って試験対策講座を実施している。学生の解答傾向により弱い学科を中心に教授している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>製菓衛生師試験 東京都試験問題一覧</li> <li>製菓衛生師試験対策講座予定表</li> </ul>
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	全国平均合格率と照らした本校の合格率を表にし、次年度への検討材料としている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>製菓衛生師試験全国合否一覧</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
試験科目ごとに試験対策講座日程に沿って試験問題対策を工夫しながら実施を行なっている。また、学生面談により受験サポートを実施し資格取得率の向上を図っている。	放課後等の時間で学科担当教員による個人サポートを行なっている。試験対策にて弱い学科についてのフォローアップを行っている。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が 図られているか	4	各担任による個別面接・三者 面談を通じて退学率の低減 を図っている。	アルバイト増加による出席 率の低下とメンタル面の弱 さがある。	退学に至る原因は友人関係 とメンタル面の指導につい て苦慮している。コロナ禍の ため一時帰国した留学生の 退学もあった。	・退学届所見書 ・学生満足度アンケート
4-22-6 入退学者数とそ の推移に関する情報を 明確に把握しているか	5	年度ごとの集計により、明 確に把握している。	退学者については、退学に 至る経緯書を各担任が提出 し、情報の共有を図ってい る。	特になし。	・退学に至る経緯書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任制で個別指導により退学率の低減を図っているが、社会経済状況による影響や金銭的問題等が退学の一因となっているが、近年では精神的弱さや協調性が欠ける等メンタル面よる原因が多くなっており、保護者との連携をさらに強化をしていく必要がある。	学園キャリアカウセリングに参加させる。 個別面談・三者面談等の実施

最終更新日付	2021年 5月 26日	記載責任者	大野 龍男
--------	--------------	-------	-------

## 4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	3	在校生はもちろんのこと、卒業生についても積極的に情報を得よう努めている。	コロナ禍により二葉祭・菓子大祭がオンライン開催となり、卒業生の情報が把握できていない。	メールやLINE等の活用 卒業生対象の公開講座の実施	・フェイスブック ・ホームページ ・Instagram ・公開講座規定
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	起業している卒業生や企業で活躍している卒業生による現場体験談の講話を実施 業界誌等にお店の紹介を行なっている。	卒業生の活躍を随時WEBで公開をしている。	より積極的な情報収集。 就職後の製菓衛生師受験のサポートを行っている。	・フェイスブック ・ホームページ ・Instagram
4-21-9 在学学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	5	多くの卒業生・在校生が外部コンテストに参加し評価され入賞しているが、コロナ禍の影響もあり、コンテスト開催自体が減った。	1. ジャパンケーキショー 2. 洋菓子コンクール (内海会コンテスト) 3. 洋菓子ジュニアコンクール日本予選 4. モバックショー (展示ブース参加)	特になし。	・ホームページ ・フェイスブック ・Instagram
4-21-10 在学学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	5	卒業生・在校生が外部コンテストで優秀な成績を収めた。	ジャパンケーキショー2018で学生部門に4名が入賞しホームページに公開をした。	特になし。	・ホームページ ・フェイスブック ・Instagram

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項 (特徴・特色・特殊な事情等)
卒業生・在校生ともに社会的活躍をしている。それらをタイムリーに外部発信する手段としてのホームページ・フェイスブック等をさらに充実させていかなければならない。 卒業生対象の公開講座の実施を進めていく。	活躍している卒業生の勤務企業からの、現場研修の依頼が増えている。 就職後の資格等の受験サポートを実施している。

最終更新日付 2021年5月26日 記載責任者 大野 龍男

## 基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援として、在学中における就職指導、学習・生活面での相談・健康管理、経済面の相談などが挙げられる。各項目別の総括は以下の通りとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職を中心とした進路支援では、専任を配し、学生の適性を見極め個別の進路支援を行い、卒業生に対しても門戸を広げ対応している。又、卒業生に対しては転職相談や仕事における技術的相談等門戸を開いて対応している。</li> <li>・卒業年度対象の東京都労働基準協会連合会委託講師による労働条件セミナーを開講している。</li> <li>・卒業年度対象の日本年金機構武蔵野年金事務所講師による年金セミナーを開講している。</li> <li>・卒業クラス対象の各企業講師による各業界説明会及び身嗜みセミナーを就職活動に合わせて7月、8月に集中して開講している。</li> <li>・学習支援においては、通常授業の補講はもちろんのこと、学生の自主研究課題に対するアドバイス等も放課後及び土曜日を利用し行っている。生活面では担任が相談、生活指導を行う体制を敷いており、バックアップ体制として教務課長、校長が状況に応じて対応している。</li> <li>・健康面では入学時に健康診断を実施し、個々の健康状態を校務運営部教務課・学生課及び担任が把握している。</li> <li>・経済的な相談窓口として、学生課が対応し、奨学金相談から学費納入に関する相談まで、個別に素早い対応を行っている。 (奨学金手続・分割納入・延期納入・各種証明書発行等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務課長・担任による個人面談及び三者面談での面談指導。</li> <li>・外部より講師を招き、個人対象のキャリアカウンセリングを実施している。</li> <li>・学園就職支援室が中心になり製菓校学生課との情報共有等の連携を行い、学生の就職指導が円滑に進み早い時期に内定が決まり、就職率の向上につながった。</li> <li>・古屋学園三校留学生の集いイベントを開催して学校・勉強・生活面の心配等を語り合う機会を設けている。</li> </ul>

最終更新日付

2021年5月26日

記載責任者

永宗 喜昭

## 5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	学園就職支援室を中心とし製菓校学生課との連携による就活指導の体制が整備されている。	各専門課程とも、入学時より計画的に指導体制が構築されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路状況調査票</li> <li>各セミナー実施予定表</li> <li>企業求人案内</li> </ul>
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	5	実施している。	1年次の5月・6月より、計5回の就職説明会を実施している。2年次では就職支援セミナーを開催している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事予定表</li> <li>就職支援セミナーパンフレット</li> </ul>
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	就職支援室を中心に、担任及び実習担当による個別相談を適宜実施している。	担任による個人面談を中心に実施している。 外部講師によるキャリアカウンセリングも実施している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業求人案内</li> <li>進路状況調査票</li> </ul>
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	就職支援室・学生課が就職支援セミナー等で履歴書の書き方を指導している。	就職支援セミナー及び個人面談の中で、具体的に指導面接方法も実技指導により学生に安心感を持たせる。	WEBでの企業エントリー等が大半を占めようになり、指導方法にも工夫が必要となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職支援セミナーテキスト</li> <li>履歴書記入例</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
専門課程においては、各クラス別の就職支援セミナー・就活に役立つビジネスマナー研修・業界研究会及び個別相談により個別での就職活動の援助、指導をおこなっているが、就職業種や仕事内容、職場環境に対する理解度に個人差がある。(就活に対する準備意識の差)	新型コロナウイルス対策感染を取りながら企業セミナーや業界研究会を実施し、職場環境・仕事内容・就職面接マナーなど学生就活指導にあたった。

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	飯田 章子
--------	------------	-------	-------

**5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	各クラス担任を中心とした相談体制が整備されている。	相談内容により、担任・教務課長・校長と段階的に対応する体制となっている。	特になし。	・学生満足度アンケート
5-23-6 学生相談室を開設しているか	4	教務課・学生担当が中心となり、学生の要望により開設し対応している。	就職支援室・学生課・担任と連携し各種相談に応じている。	相談時間の確保に苦慮している。	特になし。
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	5	学園として外部より社会経験豊かなキャリアカウンセラーを配置している。	カウンセリング後の学生対応としては、教務課・学生担当、担任が個別に対応をしている。	特になし	・学園キャリアカウンセラー実施日程表。
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	5	専任の担当者を配置し、留学生の相談に対応している。	校長・教務課・学生担当・担任・担当で体制を整備している。留学生の集いイベントを開催している。	特になし。	特になし。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任・教務課長・校長とそれぞれの段階による学生相談を実施する体制を整備している。各担任は相談を待つのではなく、積極的な声掛けを行い、学生や保護者とのコミュニケーションを図り、学生のメンタルケアを推進している。	古屋学園留学生の集いイベントを開催して学校・勉強・生活面の心配等を語り合う機会を設けている。

最終更新日付	2021年 5月 26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	--------------	-------	-------

**5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	学費の延期納入及び分割納入に対応、奨学金制度の案内を含め整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学時のガイダンスにて説明。	延期納入及び分割納入の期日を守れない場合がある。	・学生募集要項
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	5	有効に機能している。	奨学金受給者の増加	特になし	・奨学金受給者一覧
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	学費の延期納入及び分割納入に対応し、経済的に支援する制度が整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学時のガイダンスにて説明。	特になし	・学生募集要項

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の経済状況に応じ、延納・分納等による経済的支援を行っており、ここ数年利用者が増加した。</p> <p>2019 度より給付型奨学金と連動した文部科学省による授業料減免措置の制度が始まった事により、進学に伴う学費の負担が軽減されることは学生だけではなく学園にとっても良かったと思う。</p>	<p>学生の経済状況に合わせ、無利子での延納・分納に対応している。奨学金利用者が年々増加傾向にあるが、公的奨学金では対応が出来ない状況が出始めている。</p> <p>ホームページ、学内掲示物による告知及び学生課及び担任からの助言入学前より口頭説明による授業料納入に関する不安の緩和を図る</p>

最終更新日付	2021年 5月 18日	記載責任者	飯田 章子
--------	--------------	-------	-------

## 5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	毎年4月に健康診断を行い、健康面への支援を行っている。	入学直後、在校生を含め全員を対象に実施している。 レントゲン・尿検査を実施している。	特になし。	・クラス別学生健康診断書
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	4	教務課にて保健室を管理している。	教務課によりベッド、医薬品等の常備品管理を行っている。	学生の健康管理を行うには、担任・教務課・学生課の連携し情報共有をしながら学生の対応をしていく。	・クラス別学生健康診断書
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に当たる医師・看護師等がいるか	4	近隣の病院と提携している。	常駐の医師・看護師はいない。	病院の対応は教職員・担任が常に行なっている。	特になし。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学時の病歴および既往歴が把握出来ないケースがあり、緊急時の対応が難しい面がある。個人情報保護法を遵守しつつも、各担任は学生の生活状況を正確に把握し、健康診断書等を参考に学生の健康管理を行っている。	個人に不利益を招くおそれからか、病歴等を表記されない事がある。発作的病歴の有る場合は緊急時の対処用に医者（コピー）を保護者より学校（教務課・担任）が預り対応を行っている。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	------------	-------	-------

## 5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3	学園でクラブ活動・ボランティア活動を展開しているが、コロナ禍のため、学生の参加を見合わせた。	活動における学生支援及び危機管理の為、災害傷害保険に加入をしている。	各種クラブ活動を展開しているが、積極的に参加活動が行われていない。	・各種クラブ実施案内

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
スポーツ活動では学生主体で運営を行っている。顧問の教員負担や指導体制に問題は生じていないか、運営について点検・検討・改善する必要がある。	コロナ禍の影響によりボランティア活動・地域イベント活動には参加を見合わせている。

最終更新日付	2021年 5月 26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	--------------	-------	-------

## 5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5	管理人常駐の学生会館の紹介、学生寮の環境整備を行っている。 自立進学制度より学生支援を行っている。	学生寮の設置（メゾン二葉寮）及び提携学生会館の紹介を行っている。 学園自立進学制度	特になし。	学校案内 自立進学制度 メゾン二葉寮

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
遠隔地からの出身者は、学費以外に生活費や住宅費がかさみ、保護者への負担が大きくなっている。これらをいかに負担軽減することができるかが、学生を取り巻く環境整備への第一歩となる。企業と提携して、企業の寮に住み込んでアルバイトをしながら通学する自立進学制度や学生寮を設置している。	・企業との連携による自立進学制度が確立している。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	------------	-------	-------

## 5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に連携しているか	4	各担任が窓口となり、出来るだけ密接に連携をとっている。	担任制により欠席状況や学校での生活面を把握し、保護者に速やかに連絡を行い、対処している。(問題発生時)必要に応じ学生・保護者との面談等を実施。	保護者会及び学校行事出席者は、特定の保護者に限られる傾向がある。	特になし。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
保護者との連絡は、適宜、担任が窓口として学生に関する情報交換するよう努めている。 学校行事への参加については、保護者により温度差が見受けられる。	保護者連絡には 欠席状況・健康状態・生活面等が主体となっている。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	------------	-------	-------

## 5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	3	卒業生との交流は活発にあるが、同窓会として組織化されていない。	同窓会設立へ向けての設立ロードマップの作成を行う。	ロードマップ作成のため、同窓会準備委員会の設置	特になし。
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	転職の際における企業紹介や、学校施設開放・技術指導等によりフォローアップしている。	就職支援室・学生課による転職企業紹介等のサポート。 学校施設開放の実施と個人技術指導。	卒業生へのフォローアップ内容の周知。	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェイスブック</li> <li>ホームページ</li> <li>SNS</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生支援では組織的な整備は不十分ではあるが、個別支援として技術指導・学校開放など教務課が率先して行い、再就職先企業紹介は就職支援室と学生担当が連携しサポートしている。	卒業生対象の製菓講習会や卒業生の集いイベント等の開催を進めながら交流を深めているが、コロナ禍の影響により二葉祭・菓子大祭がオンライン開催となり、卒業生等との交流の場が作れなかった。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学校設備の整備は教育効果を考え、年間施設設備予算計画により改善を行い、授業に専念できる環境作りを行っている。</p> <p>2020年(令和2年度)予算計画内実施計画により本館汚水槽排水ポンプ交換工事及び本館2階師範デモ用コールドテーブル2台交換工事・本館新館実習室モニター取替工事・グリストラップ清掃及び排水管高圧洗浄工事を年間設備予算計画通りに行なった。</p> <p>本年度は講習会、企業研修、展示会出品、コンクール参加等はコロナ禍の影響で開催が中止となり実施が出来なかった。また、地域貢献では季節イベント・介護施設イベント等も同様に中止となった。</p> <p>新型コロナウイルス対策としてオートディスペンサー付サーマルカメラ（体表温度測定）・消毒用電動噴霧器・足踏み式アルコール消毒器・アクリル板等購入して学生・教職員の感染対策を行った。</p> <p>防災に関しては、教職員で防災組織を構成し、防災計画を基に安心・安全な教育環境の提供に努めている。（年度別に防災計画を管轄消防署へ提出）</p> <p>消防設備定期点検の関しては自動火災報知機・誘導灯・避難器具・消火器の点検を富士防災工業株式会社にて実施している。</p> <p>防災設備・グッズに関しては製菓学校校舎に防災用ポータブル発電機・卓上ガスコンロ・雨用流水防止フェンス・学生・職員用防災セットなど、防災環境を整備している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響により季節イベント・介護施設イベント等も中止となり、本年度は地域貢献は思うように出来なかった。</li> <li>・三鷹店舗付実習室では季節のイベント菓子の頒布会等、新型コロナウイルス感染対策を取りながらに規模を縮小して開催し、学生に対し販売・接客の実地教育を行った。</li> <li>・企業等とのコラボレーションではコロナ禍の影響により、講習会、企業研修、展示会出品・コンクール参加等、開催中止の為、実施出来なかった。</li> </ul>

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

**6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか**

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	年間施設設備予算計画により必要性に応じ対応できるように整備を行っている。	店舗付実習室にて実践的な販売実習を継続している。施設設備改善では令和元年度は計画通りに行った。	特になし。	・年間設備予算計画書 ・備品台帳
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	5	メンテナンス体制が整備され有効に機能している。	専門業者とのメンテナンスは状況に応じて実施しており、教職員もメンテナンス意識を強く持ち、保守点検を行っている。	特になし。	・学校設備管理業務改善 職場委員会
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	5	教育環境を整備する為、更新・改善計画を適宜立案し、更新している。	学生の学内における生活環境の整備等、随時問題を検証する。	特になし。	・学校設備管理業務改善 職場委員会 ・年間設備予算計画書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の利便性・安全性を考慮し、施設設備の充実を図っている。防災に関しても教職員で防災組織を構成し、防災計画を基に安心・安全な教育環境の提供に努めている。	新型コロナウイルス対策としてオートディスペンサー付サーマルカメラ（体表温度測定）・消毒用電動噴霧器・足踏み式アルコール消毒器・アクリル板等購入して学生・教職員の感染対策を行った。 消防設備定期点検は火災報知機・誘導灯・避難器具・消化器の点検を富士防災担当者と本校防火管理者にて実施している。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	4	業界企業との連携を強化し、年間を通じて企業実習研修・海外研修等を実施する教育体制を整備している。	企業訪問（国内・海外）・企業実習研修等多岐に渡るインターンシップを実施している。（年間企業研修計画書）	企業側からの研修期間・時間対応に苦慮する場合がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼文</li> <li>・承諾文</li> <li>・実習確認票</li> <li>・職業教育連携協力協定書</li> </ul>
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	各学科・学年共に研修確認表やレポートの提出と実習先の評価により実習実績の確認を行っている。	実習確認票・実習研修成績表やレポートの提出により実施内容を確認している。	企業研修での教育効果について職業としての意識変化を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習確認票</li> <li>・実習研修成績表</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日頃より業界企業には、実習の目的を理解して頂いており、研修内容・条件等、充実した指導体制の中で学生を受け入れて頂いているが、コロナ禍の影響により、協力頂けた企業・店舗等が少ない状況であった。	<p>海外企業研修（3か月）は2011年以降、研修生の応募がなく現在は海外研修の実施を休止している。</p> <p>海外研修旅行（10日間）はコロナ禍により中止となった。</p> <p>（研修訪問予定国：オーストリア・フランス・イタリア）</p>

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	大野 龍男
--------	------------	-------	-------

## 6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	教職員による防災組織及び地区担当消防署と連携することにより体制を整備、有効に機能している。	消防計画に基づき、防災教育を実施。 専門業者による年2回の消防設備点検の実施	特になし。	・防火管理維持台帳 ・消防計画 ・消防設備定期点検表
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	5	消防計画に記載し情報を伝達。 消防設備定期点検による監視	火災報知機・誘導灯・避難器具・消火器の点検を富士防災担当者と本校防火管理者にて実施している。	特になし。	・消防計画 ・消防設備定期点検表
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	5	火気設備及び実習時火気使用時の注意・避難訓練時の避難方法等、教職員の体制は整備されている。	消防計画の配布。防災訓練時に実習時間等の事故防止について周知・徹底をしている。	特になし。	・消防計画
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	災害傷害保険への加入により、災害発生時に備えている。防災グッズの学生配給は十分に処置をしている。	災害傷害保険への加入 インターンシップ活動賠償責任保険への加入 学校賠償責任保険への加入	特になし。	(社)東京都専修学校各種学校協会、(株)東京セントラル・日本興亜損害保険会社・三井住友海上火災保険(株)の加入証明書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	5	年間3回の自衛消防訓練を実施している。 教職員対象2回 学生対象1回	消防計画に基づく自衛消防訓練実施計画。	特になし。	・自衛消防訓練実施計画書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日頃より防火管理者を中心に、防災に対する意識の向上を心掛けているが、より教職員全体の危機管理がより一層必要と思われる。	年3回の自衛消防訓練を実施。（法令では年2回以上） 消防設備定期点検を年2回に点検・実施を行い、消防署に提出している。 防災意識について学生に対し、常に注意喚起を促す必要がある。

最終更新日付	2021年5月24日	記載責任者	篠崎 覚
--------	------------	-------	------

## 基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集は年次計画に基づき実施しており、学校訪問先と頻度については過去実績等から精査し、地域・学校を絞り込むことにより効率化を図って募集をしている。</p> <p>各種広報媒体については各媒体の効果を分析しながら、使い分けをすることにより効率化を図っている。紙媒体の入学案内書については、常に新しい情報を表記し入学希望対象者が学科内容及び実習内容について理解しやすいような文章表現と実習風景写真等多く掲載を行っている。</p> <p>実習風景や製品等をフェイスブックやブログ・インスタグラムでその都度、情報を更新している。</p> <p>又、学校ホームページや他のWEBページでも積極的な活用を行っている。</p> <p>学生募集状況は昨年より厳しくなっており、オープンキャンパス・学校説明会等について高校生・留学生・一般などのニーズに合った実施内容を広報担当者・教職員全体で検討・改善を行いながら学生募集に繋げている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSでの積極的な情報発信 フェイスブック、ブログ、ライン、インスタグラム等で情報発信。 特にインスタグラムを積極的に活用した。</li> <li>・ WEB情報の更新頻度を高めた。</li> <li>・ オープンキャンパス・学校見学会の実施内容の検討・見直しを広報担当者・教職員全体とで常に行い、改善し学生募集に繋げる。</li> </ul>

最終更新日付	2021年 5月 26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	--------------	-------	-------

## 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	5	年間募集行動計画に基づき実施をしている。	年間募集行動計画に基づき経営推進会議にて募集活動状況など進捗確認を行っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集要項</li> <li>・ホームページ</li> <li>・フェイスブック</li> <li>・インスタグラム</li> <li>・学校パンフレット</li> </ul>
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	5	十分に学校概要・学科内容等を分かり易く理解の出来る内容になっている。	学校案内記載の内容について学科特色・教育内容・学費など、分かり易いと評価してもらっている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学案内</li> <li>・学生募集要項</li> <li>・学校パンフレット</li> <li>・宣伝用リーフレット</li> <li>・インスタグラム</li> </ul>
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	5	あらゆる入学相談・学校見学会等に広報担当者・学生課担当者・教員が随時対応している。	電話・メールでの相談、来校相談者に対し入学相談担当者を配置し適切にパーソナルな対応を行っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学案内</li> <li>・学生募集要項</li> <li>・体験入学等のリーフレット</li> </ul>
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	広報室を設置し年間募集計画を立案し実行しているが、募集定員を充足するに至っていない。	経営推進会議において年間計画の立案・毎月進捗確認を行い、オープンキャンパス・学校説明会の回数を決めている。	学生募集戦略を見直し、時代に合った志願者ニーズの研究が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ</li> <li>・フェイスブック</li> <li>・体験入学等のリーフレット</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経営推進課広報室を中心に、入学希望者に対し個別相談への対応はもちろんのこと、オープンキャンパス・学校説明会・学校訪問を含め、随時個別面談など実施している。 学校説明については教育内容・就職状況の理解度を深める説明等を行っている。	広報室担当者と製菓校教職員全体で入学希望者の情報共有を行い、オープンキャンパス・学校見学会・学校訪問等の学生募集に活かしている。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	------------	-------	-------

## 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	5	あらゆる媒体を介して情報を発信している。 冊子・WEB等の媒体を利用して、正確に伝えている。	入学案内及び就職状況一覧の作成。 WEBにおける情報発信リーフレット等の作成・配布	特になし。	入学案内 就職状況一覧 ホームページ フェイスブック
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	入学者アンケートを実施している。卒業生の活躍を学生募集時に紹介している。	学校見学会・オープンキャンパスで入学者に学校案内やリーフレット等で紹介している。	卒業生リーフレット等の広報媒体に卒業学科を明記し、入学者がより教育成果を理解しやすくする必要がある。	・入学者アンケート ・就職状況 ・体験入学等のリーフレット

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望者に対し分かり易く正確な情報を提供することにより、学校情報・教育成果を知らしめている。（就職先・授業内容・授業料・施設内容・教員等）	学園祭や菓子大祭などで学生の製菓実習等の成果を一般の方々や保護者などに教育の成果として披露している。

最終更新日付	2021年6月25日	記載責任者	篠崎 覚
--------	------------	-------	------

## 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考基準に照らして、選考を実施している。	入学選考表の作成	特になし。	・年度別入学選考に関わる表簿
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	年度ごとに数値の推移をまとめ把握している。	年度毎の出願者及び入学者の集計表を作成している。	特になし。	・年度別出願者及び入学者一覧

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、入学選考表（評価表）及び入学審査会に基づき行っている。	特になし。

最終更新日付	2021年5月26日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	------------	-------	-------

## 7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	妥当である。	学納金関係書類で確認	特になし。	・学則 ・募集要項
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	把握している。	学納金関係書類で確認	特になし。	・学則 ・募集要項

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は、中長期計画に基づき理事会で決定される。	高等教育の修学支援新制度の対象校と認定。学納金の負担軽減の一助となっている。近年、分納及び延滞納入者が増加傾向にあり、学生の経済的状況に合わせ、適宜対応している。

最終更新日付	2021年5月18日	記載責任者	飯田 章子
--------	------------	-------	-------

## 基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>・収入 2019年度と比較して、学生数・教育活動収入ともに増加することができた。就学支援新制度施行に伴う、未収入金減も寄与している。しかしながら依然として、2017年度水準には回復できていない。</p> <p>・支出 中期計画および2020年度予算に則して順調に進捗して、想定以上の経常収支改善がなされた。ただし、各種イベントの中止・縮小開催、広報活動におけるガイダンス中止による広報費減など、コロナ禍の影響による要因が占める割合が高い。</p> <p>・資産運用 資産運用管理規程に則して適切に運用されている。</p>	<p>数値は2020年度実績 （ ）内数値は2019年度実績・【 】内数値は2019年度私立専修学校平均 日本私立学校振興・共済事業団出典の「今日の私学財政（専修学校・各種学校編）」として推奨されている、経営指標として以下項目につき概要を報告いたします。</p> <p>①事業活動収支差額比率 10.1%（6.4%）と前年より改善され、平均【9.3%】を若干上回った。 ・教育活動収入は前年比0.8億円増の8.9億円となった。学生数17名増（内部進学を含む新1年生36名減・留年を含む進級者53名増）および高等教育修学支援新制度施行に伴い未収入金減少が寄与した。 ・教育活動支出は2018年度決算を鑑みた目標として8.0億を目指していた所、若干ではあるが下回る結果となった。更に、高等教育修学支援新制度補助金の会計処理（収入：経常費等補助金・支出：教育研究費）が0.47億円含まれていることを考慮すると、実質7.5億円の結果といえる。しかしながら、コロナ禍に伴う各種イベント中止や新様式による開催、ガイダンス中止による広報費削減の影響が大きく、引き続き会計処理を除外して実質8.0億円を目標としたい。</p> <p>②人件費比率 42.2%（46.6%）となり、ほぼ平均【42.0%】にまで改善した。 ただし、2021年度は教員資格確保のための人員増・同一労働同一賃金に対応するための手当支給により人件費が増加傾向にある。 人件費削減というよりは、2017年度時点の経常収入に戻していく事を最優先課題と捉えている。</p> <p>③総負債比率 15.2%（17.3%）と着実に改善され、平均【18.6%】を下回った。 2020年度9月に1号館建設費借入金が完済し、更なる改善を見込んでいる。2号館建設費借入金完済予定である2025年度末に向けて予定通りの進捗となっている。</p> <p>■財務状況■ 2020年度末における借入金総額3.5億円・流動資産17.9億円となり、教育活動支出2年分以上（2020年度実績では15億円）の流動資産を積み重ねることができた。次の目標として、借入金返済後の流動資産が教育活動支出2年分となるようにする。 （流動資産内訳） 現預金10.1億円、債権等の安全性金融商品等3.2億円、株式等の収益性商品4.4億円、その他未収入金0.12億円</p>

最終更新日付	2021年5月27日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

## 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	引き続き、経常収入が経常支出を上回ることができ、財政基盤は着実に安定しつつある	学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)	収入は学生募集への依存率が極めて高いこと自体がリスクであり課題と認識している。引き続き損益分岐点の引き下げ学生募集強化、収益事業の強化に取り組んでいきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)</li> <li>財産目録</li> <li>資産運用規定</li> <li>経理規定等</li> </ul>
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	決算情報を開示しており、主要財務数値も私立専修学校統計と比較しながら把握している。	学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)</li> <li>財産目録</li> <li>今日の私学財政(日本私立学校振興・共済事業団発行)</li> <li>経営指標統計</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
将来に向けて必要な投資は行い、無駄を省くことをガバナンスをきかせながら取り組んでおり、安定化に向けて着実に改善が進んでいる。	1号館(二葉ファッションアカデミー)建設費用借入金が2020年9月をもって完済した。

最終更新日付	2021年5月27日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

## 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	4	事業計画および予算案を精査し、かつ学生募集状況を鑑みて期初に決定している。	各部署からの事業計画および予算、決算書。	外的要因により、中期計画の優先順位変更を余儀なくされる場合がある。社会情勢・法改正等の情報を積極的に取得することで変化対応することが必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書</li> <li>・予算書</li> <li>・評議委員会議事録</li> <li>・理事会議事録</li> </ul>
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	4	中長期計画及び単年度目標、事業計画に照らして執行され、予算と決算の差異は微差といえる結果となっている	各部署からの稟議書起案に沿ってチェックしている。	予算の執行管理（部門毎）を経理システムにより随時確認がとれるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書</li> <li>・稟議書</li> <li>・予算書</li> <li>・決算書</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度予算計画に沿い、各部署からの予算請求を稟議書によるチェックをもつて適正に処理されている。 理事会において四半期毎に予実管理がなされている。	学校単位の管理会計（教育活動事業収支のみ）を行ない、学校単位の収支に対する意識が向上してきた。

最終更新日付	2021年5月27日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

## 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	会計監査は公正・正確に行われている。	監事および税理士による監査	特になし。	決算書 監査報告書
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	年次決算の早期化が進み、監査および評議員会諮問・理事会決議が計画通りに実行できている。	前年度から更に決算書を前倒して完成させることができ、ゴールデンウィーク明け早々の5/11に決算報告および監査を実施できた。	特になし。	特になし。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務については監査スケジュールを明確に定め適切な監査がなされた。	問題なく余裕をもって年間計画通りになされている。 税理士・監事が同席のもと会計監査を実施する体制を整え3年目を迎えた。 決算内容の確認のみならず、決算から経営課題を協議するなど行われている。

最終更新日付	2021年5月27日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

## 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	5月上旬までには決算が確定し、財務諸表を毎年5月末までに公開する体制が整備できている。	5月上旬までに監査を実施し、評議員会による諮問、理事会による決議を5月末までに行っている。	特になし。	・財務諸表 (資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	学校法人会計改正に則して行われている。	ホームページにて公開。	特になし。	・財務諸表 (資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表) ※ホームページに記載

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
公的機関・教育機関としての説明責任を果たすべく、学校法人財務諸表(資金収支・事業活動収支計算書、貸借対照表)をホームページにて公開している。	特になし。

最終更新日付	2021年5月27日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>行政機関および関係団体からの通知・通達等に関しては、速やかに全教職員に朝礼・夕礼・担当者会議を通して周知を図り徹底し対応している。</p> <p>個人情報の取扱いに関しては、日頃から注意喚起を促し、継続的に啓蒙活動を行っている。特に PC 内データ管理には注意しており、記録媒体を含めて学外への持ち出しを厳禁している。今後も啓蒙活動を継続し続けることが肝要と考えている。</p> <p>自己点検・自己評価を実施・公表しているが、教職員の参画方法について工夫が必要を感じている。</p> <p>自己点検・自己評価報告書の点検は日程計画を作成し、担当者に周知させ実施を行っている。</p> <p>学校情報等の公開をホームページ上で行っている。</p>	<p>『自己点検及び評価実施委員会規定』</p> <p>『自己点検・自己評価報告書』</p> <p>『学校関係者評価委員会規則』</p> <p>『学校関係者評価委員会の開催』</p> <p>『教育課程編成委員会規則』</p> <p>『教育課程編成委員会の開催』</p> <p>コロナ禍に伴う対応では、行政からのガイドラインが、曖昧な表現が多かった為に対応に苦慮した。学生に不利益がないよう、そして学びを出来る限り止めないよう最善の努力を行った。</p>

最終更新日付

2021年6月3日

記載責任者

大野 龍男

## 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	法令や専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	私学行政機関からの通知指導等は各部署に回覧周知させ、重要案件についての対応は本部を含め協議をしている。 特にコロナ禍対応等の案件については学園全体で協議を行っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価委員会議事録</li> <li>・教育課程編成委員会議事録</li> <li>・理事会議事録</li> <li>・校長会議事録</li> </ul>
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	5	教職員及び学生に対して、積極的な啓発活動を行っている。	教職員へはメール・職員会議等において、学生へは各クラス担任より周知を行った。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価委員会議事録</li> <li>・教育課程編成委員会議事録</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
行政からの通知・通達等に関しては、速やかに全教職員へ朝礼・夕礼・担当者会議を通して周知、情報共有を図り対応している。 コロナ禍についての対応は、学校ホームページを有効活用し、学生・保護者への情報発信を行い、重要事項については書面にて配布をした。	教育行政機関からの学生への通達は、その重要度により書面にて保護者へも連絡をしている。教育行政機関からの学生通達の件数が年々増加しており、より一層のホームページ及び SNS を活用が重要。 学校関係者評価委員会の開催 教育課程編成委員会の開催。

最終更新日付	2021年6月4日	記載責任者	大野 龍男
--------	-----------	-------	-------

## 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	教職員は個人情報保護法を遵守理解し啓発活動を行っている。	個人情報保護方針に沿って取扱いが行われている。 学生を含む学校情報の公開については、承諾が得られた場合のみ公開を行っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護方針</li> <li>情報公開承諾書</li> <li>特定個人情報</li> <li>雇用管理情報</li> <li>管理規定</li> </ul>
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	志願者、在校生、卒業生及び教職員に至るまで個人情報の啓発活動を実施している。	個人情報を取扱う業務の際は、その都度注意を呼掛けている。	教職員・学生等に定期的に研修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護方針</li> <li>情報公開承諾書</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の取り扱いについては、日頃より注意喚起を促している。又、パソコン内データの管理には注意を呼びかけ、記録媒体の学外持ち出しを禁じている。	個人情報に関する記録媒体の持ち出しは厳禁としている。

最終更新日付	2021年6月4日	記載責任者	大野 龍男
--------	-----------	-------	-------

## 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	5	自己点検・自己評価を毎年度実施、これを基に学校関係者評価へと繋げ、諸問題に積極的に取り組んでいる。	開催している学校関係者評価委員会の中で、外部委員の意見を取り入れながら改善に努めている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己点検・自己評価報告書</li> <li>学校関係者評価委員会議事録</li> </ul>
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	5	方針及びその目的は明確に定められている。	目的及び方針は、自己点検及び評価基準等に明記されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己点検及び評価等実施委員会規定</li> <li>学校関係者評価委員会規則</li> </ul>
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	方針を正確に伝え、各部署に於いてはその方針を真摯に受け止めている。	書類作成における正確な情報提供及び課題の抽出。	各部署間による一層の連携を進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己点検・自己評価報告書</li> </ul>

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検・自己評価を実施すると共に、問題点の改善に努めている。 学校内外の関係者への自己点検・自己評価のに関する情報提供が出来ている。	現状の自己点検・自己評価報告書作成については項目ごとに担当教員に振り分けることで、問題点を共有ができています。

最終更新日付	2021年6月4日	記載責任者	大野 龍男
--------	-----------	-------	-------

## 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	毎年7月から8月を目途に、前年度に対しての自己点検・自己評価結果を更新、公開をしている。	学校ホームページ等に記載	特になし。	・学校ホームページ ・フェイスブック
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	方針は教職員に周知・確立している。	自己点検・自己評価等実施委員会規定で確立している。	特になし。	自己点検・自己評価等実施委員会規定
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	方針を正確に伝えている。	学校ホームページ等に記載	特になし。	・学校ホームページ

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度、『自己点検及び自己評価』の公表を行っており、積極的な情報公開に務めているが、公表時期が遅れ気味の傾向があり、注意しなければならない。	特になし。

最終更新日付	2021年6月4日	記載責任者	大野 龍男
--------	-----------	-------	-------

## 基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域で開催される各種の委員会・講演会・講習会・コンテスト・地産品の商品開発等へ本校の教職員を委員または審査員として派遣し、また本校の施設を企業・団体・地域コミュニティーに開放している。</p> <p>また、行政機関・学校・業界団体や地域との連携・交流は積極的に行っており、地元の行政機関（武蔵野市観光課）の要請による商品開発、講習会など、地元企業からの技術指導依頼等、積極的に協力を行い地域社会との連携には特に配慮を行っている。2020年度においては、コロナ禍の影響により、自粛せざるを得なかった。</p> <p>環境問題・衛生問題等の社会的問題について学生・教職員に対する啓蒙活動は行っているが、今後、方法等について検討を進めていく必要があると考えている。</p> <p>温暖化対策としては学生・教職員一丸となり省エネ運動に取り組んでおり、節電・空調等に成果が出ている。 (教職員は5月から10月までクールビズを実施している)</p> <p>学生のボランティア活動については、学生の自主的活動には教職員が支援協力を執っている。しかしながら、活動内容や活動時間の確保・安全問題等検討課題があり、積極的な奨励・支援体制等、今後活動の可能性について検討を進めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全日本洋菓子工業会 タルト1 洋菓子コンクール 協力（審査）</li> <li>・製菓技術協力 学校法人 華学園 職業連携協力（講師交流）</li> <li>・地域イベント 吉祥寺ハロウィンフェスタ 2020 にオンライン開催に参加</li> <li>・中央職業能力開発協会 技能五輪名古屋大会 協力（審査・運営委員）</li> <li>・クラブプロスペルモンタニエ 料理コンクール協力（審査・運営委員）</li> </ul> <p>地域コミュニティー・業界団体等のイベント開催がコロナ禍の影響により、縮小・中止などになり連携・貢献が出来なかった。</p>

最終更新日付

2021年6月4日

記載責任者

大野 龍男

## 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	5	業界団体・機関、地域との連携・交流を積極的に行っている。	全日本洋菓子工業会・全国洋菓子連合会との業界団体連携や地域イベントへ積極的な参加や講師派遣を行っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページ</li> <li>・フェイスブック</li> <li>・業界誌掲載</li> </ul>
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	5	三鷹店舗付実習室においてイベント販売を行い、実践的な教育と社会貢献を行っている。生涯学習事業として適宜実施している。	学習機会の多様化に対応するため、製菓実習室を活用し、公開講座の開講や講習会・販売イベント等を開催している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページ</li> <li>・フェイスブック</li> <li>・業界誌掲載</li> <li>・公開講座規定</li> </ul>
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	積極的に地域社会と連携している。	地域団体へ教室等の貸し出しを行っている。	実施期間・内容等の調整 空き教室の確保。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ホームページ</li> <li>・フェイスブック</li> </ul>
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	NA	現在は行っていない。	本校は地域密着型の学校運営を標榜している。	今後検討の余地あり。	特になし。

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	4	必要に応じ問題提起し、教職員による朝礼、夕礼、学生にはホームルーム内で適宜行っている。	教職員による朝・夕礼による周知、学内掲示やホームルーム内で学生への問題提起。	学生・教職員に対し、今後、有効な啓蒙活動の方法について検討する。	・校内掲示物
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	5	時代に応じ、出来る限りの取り組みを行っている。	温暖化及び節電対策の実施。校内における震災義援金の継続。物販クレーム対策 年金セミナー、労働条件セミナーを実施。	特になし。	・校内掲示物 ・不当要求防止責任者修了証 ・各種セミナーテキスト

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域及び業界団体との連携を積極的に行っているが、2020年度についてはコロナ禍のため自粛せざる得なかった。</p> <p>地域、業界団体への貢献を常に教職員は考え、学生と共有をしている。</p> <p>環境問題・衛生問題等の社会的問題について学生・教職員に対する啓蒙活動は行っているが、今後、方法等についてさらに検討を進めていく。</p> <p>温暖化対策としては学生・教職員一丸となり省エネ運動に取り組んでおり、節電等による成果が出ている。温暖化以外の社会問題にも取り組みの枠を広げていく。</p>	<p>働き方改革に伴い、生涯学習事業や附帯教育事業が重要になってくると思われる中、その実施方法等が課題である。</p> <p>&lt;地域・業界関係団体等主たる連携先&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央職業能力開発協会</li> <li>・武蔵野商工会議所</li> <li>・NPO 法人プレシャスネット（吉祥寺ハロウィンフェスタ事務局）</li> <li>・日本菓子教育センター</li> <li>・協同組合全日本洋菓子工業会</li> <li>・一般社団法人全日本ヴァンドウーズ協会</li> </ul>

最終更新日付	2021年6月6日	記載責任者	大野 龍男
--------	-----------	-------	-------

## 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	積極的とはいえないが奨励、支援を行っている。	教職員がサポートし学生の自主的な活動について支援・協力を行っている。	活動の規模や期間に於いて課題も多い。現状として学生の活動時間の確保も困難となっている。	特になし。
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	3	積極的な状況把握はしていないが学生の活動動向は常にチェックしている。	活動内容・結果報告は担任もしくは教務課に提出し校長が確認している。	活動を後押しするような体制作りも今後検討する必要がある。	・活動報告書

\* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生のボランティア活動については本来奨励すべきものであるが、活動時間の確保や安全問題等の課題があり、積極的な奨励・支援体制はとっていない。現在は学生の自主的な活動に任せている。	自主的な活動に対しては教職員がサポートを出来る限り行っている。コロナ禍の影響でボランティア活動の縮小や中止となり、支援が出来ていなかった。

最終更新日付	2021年6月7日	記載責任者	大野 龍男
--------	-----------	-------	-------